

第46回横浜国大ワークショップ 「バリアフリー警告サインについて考えよう！」を開催

6月12日(土)13:30~15:30 常盤台地域ケアプラザ・常盤台コミュニティハウスにて第46回横浜国大ワークショップが開催されました。今回のテーマは「バリアフリー警告サイン」です。

まずは、バリアフリー警告サインとはどのようなものかの説明がありました。「子ども飛び出し注意」や「事故多し」などと書かれた、看板や立て札、道路のペイントなどがあることを学びました。

いつものワークショップと同じく、参加者は羽沢2班、常盤台2班に分かれて席が決められ、その班ごとに話し合いをしていきます。各班に国大生のファシリテーターがついてくれます。



昨年の地域へのアンケートで、住民の多くが指摘した危険箇所を地図に表示したものが参加者に配られ、その中でどこにこの「バリアフリー警告サイン」を設置したらいいか班ごとに考えました。それぞれの班で一番危険だと思われる場所を選びました。

例えば常盤台西部・中部・東部地域の中では、元の鈴木屋さんがあった交差点が選ばれました。ここはガストから入ってきた谷道に、国大南通用門と常盤公園両方からの坂道が交差するところです。坂道方向は常盤台小学校の通学路になっています。メインの谷道が曲がりくねって見通しが悪く、スピードを落とさない学生の自転車がぶつかる事故もありました。



次のワークでは、その場所にふさわしい警告表示はどんなものか考えました。先ほどの交差点で一番危険なことは、坂道を下ってくる自転車がスピードを落とさず交差点に突っ込むことです。

自転車のスピードを落とさない危険だということを知らせるサインがいいということになりました。

そして、それを道にペイントする方法を選びました。



このワークショップは横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院 大原一興教授の研究室の学生・大学院生が関わっています。建築専攻の学生ですからイラストを描くのはお手のもの、なかなかいいサイン案ができあがりました。

4班それぞれに危険箇所とそこにふさわしい警告サインを考え、学生が描いたサイン案ができあがり、それぞれ発表しました。

横浜市まちづくりコーディネーター 平山正義氏「ごあいさつ」

横浜市の「まち普請」事業からの関りで、町の愛着を育てるためのサインづくりを進める活動に月1回の定例会やワークショップ(WS)等で参加しています。この地区で感じることは、検討の成果がものすごいスピードで出ていることです。この1年でその理由がわかりました。まずは、課題やテーマが出されると、活発に意見が出ることで、WSの作業もスムーズに進むことです。これはテーマや話し合いのポイントを出す執行部のリーダーシップが優れていることと、あまり遠慮せず本音の意見が言える環境(伝統)があると思われますし、真剣に参加していることの証明ともいえます。次に横浜国大の大原一興先生と建築研究室及び常盤台地域ケアプラザのサポートが大変大きく、特にアンケートやWSの準備とまとめは、実にわかりやすく提出されます。この連携は大変な強みであり、「まちづくりの武器」になると思います。

今、大いに熱意があり盛り上がっているサインづくりは、完成まではまだまだ様々な課題があるものの、何年後には完成するでしょう。これは一つのゴールです。しかし、まちの課題や問題はサイン以外にも色々あります。サインづくりで、まちに愛着を持てただけのきっかけが出来れば、わが町「常盤台・羽沢南」のこれからを考えるスタートになりますし、もっと大きな成果の期待をいただいています。

平山氏経歴

昭和30年10月 鹿児島県・知覧生まれ

昭和60年 3月 関東学院大学建築学科卒

昭和49年 4月 横浜市都市開発局開発課 入職

平成 3年 1月 株式会社アーキテクト・アソシエイツ・ヨコハマ設立 代表取締役

建築設計の他、建築協定・地区計画・住宅地の防災まちづくり

商店街の環境整備等の活動支援や市民共同のまちづくりに多数参加



サイン製作設置グループ活動報告

サインづくりを具体的に推進する為、3つのワーキンググループが活動しています。その中でサインをデザイン・製作・設置していく「サイン製作設置グループ」が、サインづくりをリードしていきます。そこでこのグループの活動にスポットライトをあてていきます。

○ サインづくりのスケジュールを決めました。

今回計画している5つのサインについて、デザイン・仕様作成・設置個所決め・見積もりを令和3年12月までに行うことが決まりました。

サイン名	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 坂・道名称サイン						
② 歴史・特産品紹介サイン						
③ 地図付き案内サイン						
④ バリアフリー警告サイン						
⑤ ギャラリーサイン						

○ 坂・道名称サインの大きさ・材質・価格を検討しました。

① 大きさは 横 : 450mm × 縦 : 70mm × 厚さ : 3mm になりました。

② 材質は、経済性と耐用年数から「アルミ複合板」になりました。

③ 製作費は、1枚3,000円位を目指します。